

挑戦、思いやり、感謝、3つの心。

鈴木新校長のもと、生徒一人ひとりが輝ける学校づくり

2017年
6月14日
取材

相模原中等教育では新たな校長先生・副校長先生のもと、9年目をスタートしました。3期生の39・7%にあたる62名が国立大（気象大・防衛大含む）現役合格を果たし記録を更新した相模原中等教育を6月14日に訪問しました。

相模原中等は新体制でスタート

「身近な先輩たちの頑張りを見てきた3期生は、2期生と同様に最後まであきらめることなく頑張ってくれました。先生方の厚いサポートも功を奏しました。3期生も国立大、理系志望が多かったですね。数学の先取り学習や、実験も多く行う理科の授業カリキュラムもそうですし、キャリア教育を通して早い時期から大学を身近に感じられることもあるでしょう。これらは中高一貫教育のメリットですね」

第4代校長に就かれた鈴木恭子先生は、目を細め3期生の健闘ぶりをお話しくださいました。相模大野高校で3年間、相模原中等教育開校から4年間指導され他校へ異動、昨年副校長として相模原中等教育に戻ってこられた先生です。副校長には平塚中等教頭だった永田宏先生が着任。永田先生も平塚中等教育開校準備室時代から中等教育に携わってこられた先生です。

「入学式で生徒全員に向けて『3つの心』を大切にしてほしいと話しました。1つは『挑戦』。自分のやりたいことを履することなくやってみる。2つめは『思いやり』。次

世代のリーダーに求められる高度なコミュニケーション力は他者を思いやる心がなくてはなりません。3つめは『感謝の心』です。人は一人では生きていけません。仕事も他者と協働しながら進めていきます。この3つの心を大切に、生徒一人ひとりが輝ける学校づくりを約束しました」と鈴木校長先生。

永田副校長先生は「異動してあらためて平塚には平塚の、相模原には相模原の良さ・個性があることを感じています。県立中等教育2校がともに発展していくために、お互いを高めあえる環境を作っていきたいですね」と意気込みを話してくださいました。戦後最大級の教育改革が進行する中、相模原中等教育はどう変わっていくのでしょうか。

教育改革の先を行く指導

「最近公表された大学新入試のモデル問題を見ると、適性検査と共通点が多くあることが分かります。情報を収集し知識を活用して解く力ですね。その力をつける授業スタイルとして主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）が次期学習指導要領では重視されていますが、これも県立中等教育2校が取り組んできたものです。また、英語4技能重視の指導も開校以来力を入れてきました。4技能の力をしっかり高め、生徒が進路希望に応じて英検、TEAP、GTEC、TOEIC、TOEFLなどでも高いスコアを出せるよう指導しています」

まさに、時代が県立中等教育の実践に近づいてきたといえます。

伝統を育む次のステージに

県立中等教育の特色である「かながわ次世代教養」も、何を学んできたか、大学で何を学びたいかが問われる新時代の大学入試を先取りしているといえます。課題を発見し解決する探究活動はこれからの学びでも大変重要です。探究活動はこれまでの実績をもとにもっと充実させたいですね」。

さらに鈴木校長先生は「進化し発展し続ける学校でありたいと思います。今年から後期課程は45分7時間を、100分授業3コマと50分授業1コマに変更しました。また3年生のカリキュラムの変更も検討中です。開校から取り組んできたことを見直しながら新たな伝統を作っていきます」。

かけがえのない「ぎずな」を

それでは鈴木校長先生、大場教頭先生の

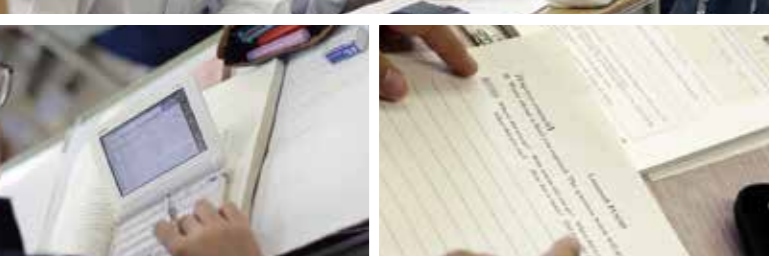
案内で恒例の授業見学です。1年生の教室は初々しさの中にも活気があふれています。理科では探究活動のテーマをグループに分かれ相談しあっています。鈴木校長先生は、「大きく成長する6年間で一緒に過ごすからでしょうか、男女分け隔てなく仲が良く仲間意識も高いですね。テスト前に放課後の教室で、10人ぐらいの生徒が教えている姿も見えます」。後期課程の教室も見学します。先生と生徒との信頼関係が伝わってきます。「宿題のワークブックは、アドバイスやコメントが書かれた付せんが何十枚もはられ返却されるほど、先生方はいろいろな指導に努めています」。

6年生の教室には野球部の大きなバッグ、去年の県大会4回戦進出の活躍を思い出しました。「部活動では3年生の夏頃から後期課程の生徒と一緒に活動します。先輩を

身近に感じることで中だるみ防止にもなっているようです。引退まで一生懸命頑張りが、そして現役で志望大学に合格するという文武両道の精神を、先輩から学びとっていると思います」。

当日は教育実習中でした。「来年は1期生がやってきます。卒業生同士の交流も続いているようです。再会が楽しみです」。

目指すべきモデルの先輩と、卒業後も交流が続くぎずなで結ばれた仲間、そして生徒一人ひとりを見守る献身的な先生方。相模原中等教育の輝かしい実績の背景を実感した訪問となりました。最後に鈴木校長先生・永田副校長先生からのメッセージをご紹介します。



DATA 神奈川県立相模原中等教育学校

来年入学する皆さんは10期生です。「しっかり学び」「じっくり育て」「ゆっくり探る」6年間を通し、いろいろなことに自ら進んで挑戦し、新たな伝統を作っていきます。本校には、皆さんの心に寄り添いながら育てていく先生方が待っています。

県立中等教育学校は開校9年目。今まではかたちを作る時期、これからは伝統を作っていく時期です。皆さんには大きな夢を持ち、夢を育て、そしてかなえてほしいと願っています。道を開くのは自分です。「行きたい」という思いをぜひ実現してください。

県立相模原中等教育学校
第4代校長 鈴木恭子先生



県立相模原中等教育学校
副校長 永田宏先生



合格実績 2017年度実績抜粋

- 東大6名 うち推薦合格1名
- 東工大8名 一橋大2名
- 電気通信大3名
- 横浜国立大10名
- 気象大1名 防衛大1名
- 等国立大68(6)名
- 早慶上智計83(8)名
- 明青立法中東理計200(12)名
- 等私立大440(34)名
- 3期生156名 ()は既卒生合格で内数

相模原市南区相模大野4-1-1
TEL (042) 749-1279
FAX (042) 740-2852
相模大野駅北口エスカレーターを降り伊勢丹、中央公園を横切り徒歩約10分

学校説明会

8月1日(火) ①11時～
②14時～
相模女子大学グリーンホール
相模原中等教育HP申込受付
詳細もHPでご確認ください

学校見学

7月までの受け付けは終了。
8月下旬から9月以降分の受付開始

お問い合わせ

11月3日(金・祝) 受付開始10月3日
①9時30分～②11時30分～

